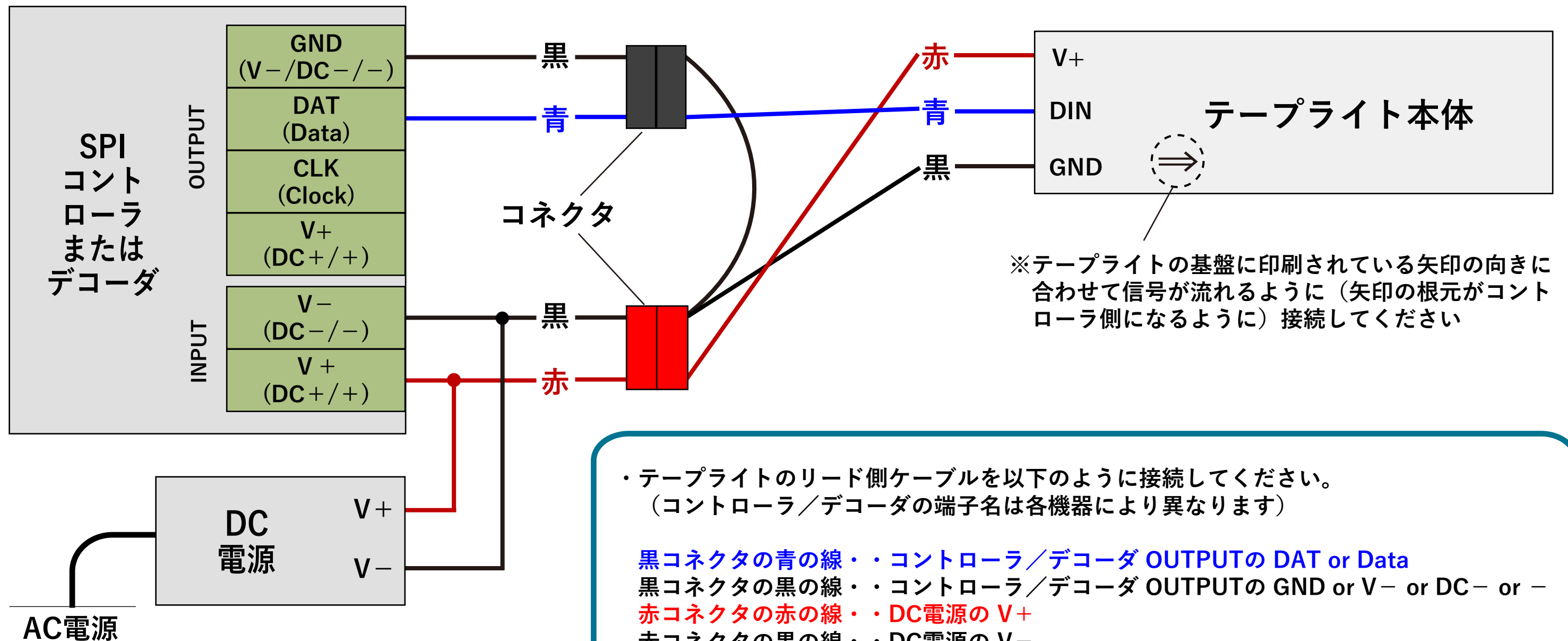


SPI 対応テープライト (WS2811/TM1804) と DMX-SPI コントローラ/デコーダ の配線概略図



※DC電源は灯体の電圧仕様・消費電力に合わせて適切な電源をお選びください。

※実際の端子の配置はそれぞれの機器によって異なります。ご使用機器の配置に合わせて接続してください。

※図のスケールは実物とは異なります。

2018/3/30作成 スパークリングライツ株式会社

- ・テープライトのリード側ケーブルを以下のように接続してください。
（コントローラ/デコーダの端子名は各機器により異なります）

黒コネクタの青の線・・・コントローラ/デコーダ OUTPUTの DAT or Data

黒コネクタの黒の線・・・コントローラ/デコーダ OUTPUTの GND or V- or DC- or -

赤コネクタの赤の線・・・DC電源の V+

赤コネクタの黒の線・・・DC電源の V-

- ・電源を直列で供給できるのはテープライト1巻分までになります。
5V 2m巻（60球/m）の場合は 2mまで
12V 幅14.5mm 5m巻（60球/m）の場合は 5mまで
12V 幅23mm 5m/10m巻（30球/m）の場合は 10mまで
それ以上連結する場合、電源は並列に供給する必要があります。
- ・DMX512制御を行う場合、制御可能なのは170アドレス分までになります。
（1球1アドレスの場合は170球、3球1アドレスの場合は 510球）